
国家の存亡をかけて

怠惰なぼっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

国家の存亡をかけて

【Nコード】

N2900BA

【作者名】

怠惰なぼっち

【あらすじ】

注意

この物語はフィクションです。作品内の登場人物、地名、場所等は全て架空の物です。予めご了承下さい。
また作品は中世をモチーフにしています。

プロローグ

注意

この物語はフィクションです。作品内の登場人物、地名、場所等は全て架空の物です。予めご了承下さい。

また作品は中世をモチーフにしています。文章が変になっている所もあると思いますが、温かい目で見てください。

昔々、ある国でのお話です

その国は平和な時代が続いていた国でした

国王が死ぬまでは

この小説は、そんな波乱の国の中でも国の、民のために戦い抜く騎士達のお話

第1話 誇りある騎士団（前書き）

重要な話の時は話数だけでなくサブタイトルもつけます。

第1話 誇りある騎士団

メルディアズ王国はメルデナ王家による統治から1000年以上の歴史を持つ国である。

国王は国民の事を憂い、国内を統治する良き支配者として他国の者でも評判である。

そんな国に生まれた一人の男がいた

「だーから、一次試験受かったんだって!」

「あのなあ、いくらもう歳だからってわしに嘘をつくような真似は…」

「いやいやいやいや、これ見てくれよ!」

その男の手には、確かに一次試験合格の通知があった。

「ね、つーことで、家業は継がなくて良いよね?」

「ダメだ!断つて来い!」

「な、何で!?息子が夢を叶えられるんだぜ?そこは快く…」

「ダメだ!お前が継がなかったら誰がここを継ぐんだ?」

「ユラがいるんだからいーじゃねーか」

「あのおな、武器屋が女に務まるわけがないだろ……」

「お父さん、それは失礼なんじゃない？」

「な！、ユラ、いたのか！？」

「私が武器屋は継ぐからさ、お兄ちゃんにはお兄ちゃんの夢があるんだし」

「さすが俺の妹。話が分かるやつで助かる」

「……そこまで言うなら、認めてやるっ」

「よっしやー！……！！」

「大丈夫なの……？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2900ba/>

国家の存亡をかけて

2012年1月7日15時58分発行